

項目	発言要旨	対応状況
働き方改革	・ 「ほっかいどう働き方改革支援センター」は、より裾野の広い活動を行うと良い。	②
	・ 育児中の女性の就業率が道内では 50%を切っている一方、70%を超えている県も多くあるので、ベンチマーキングをしっかりと行う必要がある。	①
	・ 「北海道働き方改革推進方策」においては、長期間にわたり地道に施策を行うことが大切。	②
	・ リタイヤした世代の知見を活かした、地域社会での活躍の場を考えることが必要。	②
北海道グローバル戦略	・ 北海道の強みをよく知る留学生や外国人観光客の視点を取り入れると良い。	①
	・ マーケットをどこにするのか、どこを狙って施策を打っていくのか意識して施策展開すべき。	①
企業誘致	・ 外資企業の誘致により、生産性の向上や、商店街の縮小等の地域課題解決が期待できる。また、外資の受け入れにあたっては、医療、教育、生活での支援等外国人と地域住民の共生に向けた取組が必要。	①
海外展開等	・ 輸出促進にあたり、知的財産の保護や、実際に被害にあった企業などに対する支援や対策に目を配ることも必要。	①
	・ JETRO では農業機械関係の輸出支援を開始したところだが、北海道のものづくり産業についても積極的に輸出に取り組んではいかがか。	①②
	・ 雪冰冷熱を利用した冷房等、北海道ならではの技術の発信をぜひ今後も進めてほしい。	①②
	・ 地方の中小企業が海外展開する際の事務的な問題等について、公的な機関が積極的なアドバイスを行ってほしい。	①
	・ 欧米での北海道ブランドの構築や知名度アップにあたっては、メディアや映画、SNS などのコンテンツを活用した長期的な観点での取組が必要。	①
	・ 6次産業製品を首都圏や海外へ展開する際、流通コストがかさみ価格競争力が劣るため、流通コストの経費削減や効率化に関する施策を検討してほしい。	①②
AI、IoT の活用	・ AI、IoT 関連の施策においては、一次産業との連携等、北海道ならではの観点に軸足を置いてほしい。	②
事業承継	・ 企業の若返りを図っていくアドバイスや承継プランをもっとアピールしていただきたい。	③
地域商業	・ 地域の商店街を活性化するためには、大型店とも一緒になって、地域全体で手をつないで連携してまちづくりを行うことが必要。	①
	・ 子どもたちの見守りや、宅配等の役割を担う地域の小規模店を、IoT などの技術面でサポートするような施策が必要。また、商業活性化部会では、大型店の撤退対策だけでなく、地域の小規模店についての施策もまとめてほしい。	①

※ 対応状況

- ① 予算・計画等に反映
- ② 既決予算等に対応  
(継続して対応)
- ③ その他